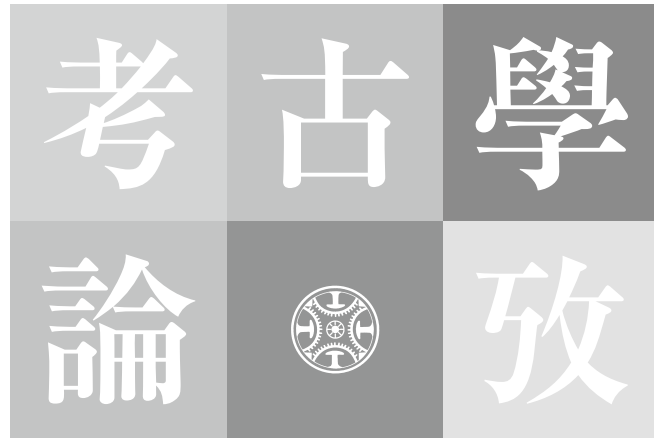


橿原考古学研究所紀要



—— 第 47 冊 ——

2023

序

橿原遺跡の発掘調査を契機として末永雅雄初代所長により、昭和13年9月13日に創立された橿原考古学研究所は、本年85周年を迎えました。

橿原考古学研究所紀要『考古学論攷』は昭和26年に創刊され、『橿原考古学研究所論集』とともに所員の研究成果発表の場の一つとして、これまでに学界を牽引する多くの論攷を掲載してきました。両書に掲載された様々な研究成果の積み重ねこそが、当研究所の調査・研究の源となっています。

本冊には、1：弥生土器の法量に関する基礎的分析、2：横穴式石室から読み解く畿内と東国の政治的背景、3：長胴形陶棺に葬られた被葬者像、4：文献史学から読み解く屯倉から宮そして寺への変遷、5：古墳時代の水のまつりから苑池そして日本庭園への発展、6：放射光X線CTを用いた織物の詳細分析、以上6本の論攷を収録しました。当研究所の調査・研究が、考古学のみならず、文献史学や保存科学といった多岐に及ぶものであることをまさに示した内容となっています。

新型コロナウイルスの影響により永らく海外との交流も中断しておりましたが、本年より海外の研究機関との研究交流も本格的に再開する見込みとなりました。奈良県の遺跡のみならず、海外も含めたグローバルな視点に立った調査・研究を今後もさらに推し進めて参ります。

令和5年9月30日

奈良県立橿原考古学研究所
所長 青柳 正規

目次

序	青柳正規
弥生時代の高坏（二）—日本列島西半部における土製供膳具の様相—	川上洋一…… 1
初現期横穴式石室から見た畿内と東国	右島和夫…… 15
長胴形陶棺の性格と位置づけ	前田俊雄…… 29
桜井屯倉・小墾田屯倉から豊浦宮（寺）・小墾田宮（寺）へ	西本昌弘…… 41
古代苑池小考—古墳時代の「水のまつり」の場から日本庭園へ—	青柳泰介…… 53
放射光 X 線 CT を用いた染織文化財の構造と材料の研究	奥山誠義・北井利幸…… 65

奈良県立橿原考古学研究所紀要

考古学論攷 第47冊

令和5年9月30日 発行

発行 奈良県立橿原考古学研究所

奈良県橿原市畝傍町1番地

印刷 橋本印刷株式会社

奈良県葛城市竹内365番地1

ISSN 0287-9271